

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	栃木県	市町村名	—	大学名	—
派遣日	○令和2(2020)年10月19日(月曜日) 13:30~16:30 13:00~ 受付 13:30~13:40 開会・挨拶 13:40~14:00 説明 県教育委員会事務局 義務教育課指導担当 14:00~16:20 講話・演習 「外国人児童生徒教育の充実をめざして ～JSLカリキュラムを取り入れた授業作りを通して～」 16:20~16:30 まとめ・事務連絡				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 ○派遣 / 遠隔				
派遣場所	栃木県総合教育センター 宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028-665-7200				
アドバイザー氏名	市川 昭彦				
相談者	栃木県教育委員会事務局義務教育課				
相談内容	○帰国・外国人児童生徒教育研究協議会の講話について 本協議会は、初めて日本語指導を担当する教員から、長年担当している教員まで経験年数の異なる教員が参加するため、幅広い内容にしていく必要がある。特に、日本語指導の計画から実施まで、担当の教員が現場ですぐに生かせるよう、実践に沿った内容で実施するための具体策を教授してほしい。				
派遣者からの指導助言内容	○講話・演習 ・外国人児童生徒受入れの手引きについて(平成23年度版からの変更を踏まえて) ・DLAの実施について ・個別の指導計画の作成について ・AUの活用について ・JSLカリキュラムを取り入れた授業について ・演習:新任日本語学級担当教師に対する助言				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	・県内の各市町において外国人児童生徒の実態は異なり、集住・散在地域それぞれの課題に対応した研修や、日本語指導担当教員の経験年数に応じた研修が必要であるため、次年度以降の本協議会の在り方を引き続き検討していく。 ・外国人児童生徒が在籍している学校が増えているため、日本語指導担当教員が配置されていない学校の教員にもより多く研修に参加してもらい、外国人児童生徒教育に対して理解してもらう必要がある。そのため、県教育委員会として、多くの教員を対象とした研修機会を確保できるよう方法等について検討していく。				